

山口情報芸術センター [YCAM] イベント

食と倫理リサーチ[リサーチ・ショーケース]

2022年1月15日(土)～4月3日(日) 10:00～20:00 入場無料
山口情報芸術センター [YCAM] コミュニティスペース

幅広い文脈から「食」を捉え直す

1年間の活動の成果を発表するショーケース

山口情報芸術センター[YCAM]では、「食」とそれを取り巻く倫理的側面との関係についての研究開発プロジェクト「食と倫理リサーチ」の研究成果を発表する展覧会「食と倫理リサーチ[リサーチ・ショーケース]」を開催します。

「食と倫理リサーチ」は、災害、バイオテクノロジー、倫理、そしてサステナビリティの観点から「食」を捉え直すためのプロジェクトとして2021年度からスタート。これまでアーティスト／料理人の岩間朝子、インドネシアを拠点とする食にまつわるコレクティブのバクダパン・フード・スタディ・グループとともにリサーチを重ねています。

この展覧会では、ここまでのリサーチの成果として、山口県で活動する料理人や食料生産者、生活者、そして、岩間やバクダパンへのインタビュー映像を資料とともに展示します。また、会期中には食の問題に関心を持つアーティストや研究者を招いたトークイベントも開催します。

幅広い文脈から食への理解を促す本イベントを通じて、食を取り巻く現在の状況や、人間と消費の関係性の一端を描き出します。この機会にぜひご覧ください。



「YCAM バイオ・リサーチ・オープンデイ vol.1 パンと酵母」(2016年)の様子
撮影：大林直行 [101DESIGN]

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

[お問い合わせ]

山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp ウェブサイト: www.ycam.jp

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

幅広い文脈から「食」を捉え直す



「YAMA KITCHEN」の様子（撮影：大林直行 [101DESIGN]）

テクノロジーの進展は、私たちの生活に密接に関わる「食」にも大きな影響を与えており、食料生産から流通、料理方法など、さまざまなプロセスにおいて変化が加速しています。こうした状況のなか、YCAMでは、これまでの活動で蓄積したメディア・テクノロジーにまつわる知識や経験を、山口の地域課題や資源に結びつける取り組みを重視しており、その中でも食は重要な題材となっています。

2015年度から2016年度にかけて実施した「アグリ・バイオ・キッチン」は、バイオテクノロジーの専門家や地元農家らとともにイベントなどを開催し、食におけるメディアテクノロジーの応用可能性を探りました。また、2014年度から2018年度にかけて実施した「YAMA KITCHEN」では、館内外でシェアキッチンを経営したほか、食にまつわるイベントやマーケットを開催してきました。ほかにも多数の食に関する取り組みがあります。

2021年度からスタートした研究開発プロジェクト「食と倫理リサーチ」では、アーティスト／料理人の岩間朝子、インドネシアを拠点とする食にまつわるコレクティブのバクダバン・フード・スタディ・グループをコラボレーターに迎え、今日の食が抱えるいくつかの課題 — 気候変動や生態系への影響、食の格差やフードロスなど — を念頭に、災害、バイオテクノロジー、倫理、そしてサステナビリティの観点から食を捉え直していきます。この成果は、展覧会や書籍などのかたちで、今後も継続的に発表する予定です。

■ アグリ・バイオ・キッチン

2015年度～2016年度

メディア・テクノロジーの応用範囲を、生活のより根源的なレイヤーまで拡大し、新しい生き方や暮らし方の提案をおこなうプロジェクト。

バイオテクノロジーの専門家や地元農家らとおこなうフィールドワークやワークショップ、市民参加型のオープンな勉強会を通じ、近年バイオテクノロジーなどへの注目度が高まっている食分野におけるメディア・テクノロジーの応用可能性を探った。

■ YAMA KITCHEN

2014年度～2018年度

「食」を題材に、コミュニケーションを活性化させる場を生み出すプロジェクト。山口市を拠点に食と文化にまつわる活動をおこなう津田多江子とともに実施。

シェアキッチンの運営と、そこで開催するイベントを通じて、地域のコミュニティや古来から地域に伝わる古来の知恵を再考したり、人々との交流を図った。

今日の食を取り巻く課題と実践を紹介する



「YCAMバイオ・リサーチ・オープンデイ vol.1 パンと酵母」(2016年)の様子
撮影：大林直行 [101DESIGN]

今回開催する「食と倫理リサーチ[リサーチ・ショーケース]」は、「食と倫理リサーチ」のここまでの成果を展示形式で紹介するものです。

展示では今日の食を取り巻く課題や、それに対する実践を紹介することに主眼を置き、展示物はプロジェクトに関連する人物へのインタビュー映像と、関連する資料や書籍を紹介するコーナーのふたつから構成されています。インタビュー映像には、山口県で活動する料理人や食料生産者、生活者、プロジェクトに関わるYCAMのスタッフ、そして、コラボレーターの岩間やバクダパンが登場し、彼女らの食にまつわるさまざまな問題に対する意見や実践を紹介します。資料や書籍を紹介するコーナーでは、プロジェクトメンバーがリサーチの過程で活用した書籍や、インタビュー映像に関する資料を展示します。また、展示は食にまつわる対話を促進するためのプラットフォームとしての側面も持っており、一連の展示物に対しては、来場者が意見などを残すことができます。

このほか会期中には、バイオテクノロジーの専門家や研究者、コラボレーターらを招いたオンラインのトークイベントを2回にわたって開催。プロジェクトの視点や今後の展望をより深く掘り下げていきます。

一連のプログラムを通じて、今日の食の生産、流通、消費について理解を深める機会を創出するとともに、2022年度に予定している展覧会に向けた対話を加速させていきます。

■ 岩間朝子 (いわま・あさこ)

1975年、東京生まれ。ベルリン(ドイツ)と東京をベースに活動。

料理人／アーティストとしてのバックグラウンドをもつ岩間は、食べるという行為の社会的側面について共に考えるための実験的なワークショップやフィールド・トリップなどを行ってきた。最近の活動では、自然の諸要素と、身体の物質性あるいは主観性との関係の歴史的、技術的な変容を、型を取る、写す、採取するといった身体的関与を取り入れた制作を通じて考察を試みている。Studio Olafur Eliasson (ベルリン)併設の食堂 The Kitchen の立ち上げ・運営にコックとして携わり(2005-15年)、『The Kitchen』(2013年)を共同編集。

<https://www.asakoiwama.net>

■ バクダパン・フード・スタディ・グループ (Bakudapan Food Study Group)

食についてのアイデアを語り合うスタディグループ。現在は8名が所属している。

バクダパンという名前は、マナド語(インドネシア北スラウェシ州の地方語のひとつ)で「会う」という意味の「バクダパ」と、ぶらぶらするときに出されるおやつのようなものを指す「クダパン」からヒントを得た造語。すなわち、「会議中にスナックを食べる」と訳すことができる。

アート、エスノグラフィー、リサーチ、実践をつなげて、食に関するプロジェクトを展開しており、アプローチは展覧会やパフォーマンスから、ガーデニングや料理まで多岐にわたる。すべてのプロジェクトでジャーナルを作成し、ウェブサイトで発表している。

<https://bakudapan.com>

開催概要

食と倫理リサーチ [リサーチ・ショーケース]

2022年1月15日(土)～4月3日(日) 10:00～20:00

山口情報芸術センター [YCAM] コミュニティ・スペース

入場無料

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市教育委員会

技術協力：YCAM InterLab

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

科研費 基盤研究 (C) 「パーソナル・バイオテクノロジー」 (2019-21年度)

研究代表者：津田和俊 (YCAM)

関連イベント

食と倫理についてパーソナル・バイオテクノロジーの観点から考える

2022年2月21日(月) 19:00～21:00

会場：インターネット (YouTube Live) 参加無料 (申込不要)

登壇者：杉崎麻友 (Beyond BioLAB TOKYO、Shojinmeat Project)、桜木真理子 (大阪大学)、榎本輝也 (フリーランス)、竹村真人 (ファブラボ浜松テイクスペース)、細谷祥央 (BioClub Tokyo)、ゲオルク・トレメル (BioClub Tokyo、BCL)、片野晃輔 (ワイルド・サイエンティスト)、伊藤隆之 (YCAM)、レオナルド・バルトロメウス (YCAM)、高原歩美 (YCAM)、高原文江 (YCAM)、津田和俊 (YCAM)

食と倫理についてアーティスティック・リサーチの観点から考える

2022年3月7日(月) 19:00～21:00

会場：インターネット (YouTube Live) 参加無料 (申込不要)

登壇者：岩間朝子 (アーティスト/料理人)、バクダバン・フード・スタディ・グループ (アーティスト・コレクティブ)、鈴木和歌奈 (文化人類学者)、レオナルド・バルトロメウス (YCAM)、高原歩美 (YCAM)、高原文江 (YCAM)、津田和俊 (YCAM)

同時開催イベント

クリクラボー 移動する教室

開催中～2022年2月27日(日) 10:00～19:00

会場：山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ

入場無料

インドネシアのジャカルタを拠点に活動するアーティスト・コレクティブ、セラム (Serrum) による展覧会です。

YCAM オープンラボ2021：オルタナティブ・エデュケーション

今日におけるアートや研究開発、公共文化施設のあり方を捉え直すオンラインのトークイベントです。2月末までの間にオンライン上にトークイベントの様子が随時アップロードされていきます。

